

## 令和5年第1回おいらせ町議会定例会

### 一般質問通告書（5人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	8番	平野敏彦議員	一問一答方式
2席	5番	木村忠一議員	一問一答方式
3席	13番	西館芳信議員	一問一答方式
4席	3番	馬場正治議員	一問一答方式
5席	7番	日野口和子議員	一問一答方式

順位	1席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

### 1. 新庁舎建設候補地の選定について

- (1) 令和5年第1回議員全員協議会で、統合庁舎と病院の建て替えについて、最終的に最適な候補地を選定したと報告がありました。町では「青森県津波浸水想定」等に照らし合わせた結果、浸水区域外に該当するのが「イオンモール下田周辺（国道45号、間木・百石1号線沿い）」のみであったため、さらに3か所に分け選定作業を行い、1か所に選定したとあります。なぜ、その3か所を選定しなかったのか、選定理由についてお伺いします。
- (2) 現在、休日となればイオンモール周辺の道路は渋滞しております。イオンモール下田近接地域に新庁舎と病院が建設されることにより、町が各種イベント等を実施した場合、更に大渋滞が発生することが予想されますが、その対策についてお伺いします。
- (3) 町が決定した候補地は傾斜地となっており、高額な造成費用が見込まれることは想定しているのか。また、候補地内には高圧送電線の鉄塔と電源設備がありますが、撤去されるのか。造成と撤去の費用の見込み額はどれくらいか、お伺いします。
- (4) 統合庁舎と病院建て替えの建設候補地として、広い敷地（7万㎡）が確保できる間木・百石1号線沿いが最適であると考えております。現在浸水想定地域に住む町民の不安を解消するためにも、新庁舎周辺に住宅街を形成することで、店舗と連携した創出が期待されます。町長の考えは。
- (5) 統合庁舎と病院建設後の50年100年先の「おいらせ町の未来」を考えたとき、町の文化・体育・福祉施設の老朽化を見据え、長期的・将来的にも総合的に判断すべきだと考えます。令和元年度に議会で視察した岩手県紫波町を参考に「おいらせ町の未来のまちづくり」について、再検討する考えがないのか、お伺いします。

順位	1席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

## 2. 大山康晴15世名人誕生100年特別展示計画について

(1) 旧百石町に将棋文化を普及、町に将棋文化を根付かせた故大山康晴15世名人の誕生100年の年に当たる節目を記念して、町が特別展示を実施し、「将棋の町・おいらせ」をPRする方針と報道がありました。

新型コロナウイルス感染症の流行により3年間、規制や自粛生活が続く中で、町民に特別展示を通して町の歴史を再認識する企画を計画されたことを高く評価いたします。

開催計画の実施時期や期間などについて、お伺いします。

(2) 岡山県倉敷市にある大山将棋記念館との交流について。また、小学生の将棋の交流があるのかお伺いします。

## 3. 町民プールの使用料について

(1) 令和5年度から町民プールの使用料を徴収すると議員全員協議会で説明がありました。国を挙げて少子化対策や子育て支援策を講じ、県では健康寿命延伸に向けて取り組みを強化しております。

今、町が使用料を徴収する理由と、当初、使用料を無料とした理由をお伺いします。

(2) 町が試算した高校生の使用料の見込みは、1年間で20名の合計金額は2千円です。費用対効果を考えると、子育て支援策と健康増進事業として、高校生を無料とすべきと考えますが、町の考えをお伺いします。

順位	1席	議員 氏名	8番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

#### 4. おいらせ町職員の働きやすい職場環境の整備等について

- (1) 2021年度に、心の不調で1か月以上の病気休暇、または、退職した地方公務員が全国で3万8,467人に上ったことが、総務省の調査で分かったとあります。その背景として、『コロナ対応による業務量の増加』や『職場のコミュニケーション不足』によるものと言われております。町村職員に占める退職中の割合は、平均1～1.5%とありますが、当町の分限処分の実態と令和2年度から令和4年度に1か月以上、休んだ職員の割合について、それぞれお伺いします。
- (2) コロナ対応による業務量の増加に伴う町の対応策は。また、職場のコミュニケーションを図るためにどのような対応策を講じているのか、お伺いします。
- (3) 国では最重要課題として「異次元の少子化対策」に取り組むとしております。我が町では、毎日のように本庁舎や分庁舎とも夜遅くまで灯りがついていると多くの町民の声があります。この中には子育て世代の職員も含まれていると思います。職員の退庁時間について、どのように把握されているのか。また、子育て中の職員に対し、業務量の軽減や、調整する体制がどのように整備、実施されているのか、お伺いします。
- (4) 令和4年12月定例会の一般質問で、町の人口が一番多いのに対し、郡内で職員給与が一番低いと答弁があり、改善作業中とのことでした。  
次の3点について、お伺いします。
- ア. 現在の課長補佐が全て5級になる時期は。
- イ. 現在の課長が全て6級になる時期は。
- ウ. 一つの級に一つの役職にする考えと、完全に移行する実施時期について、町長の考えは。

順位	2席	議員 氏名	5番 木村 忠一	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

1. おいらせ病院、統合庁舎の建設予定地について問う

(1) 予定地はイオンモール下田の西側としているが、それについて下記のとおり伺う。

ア. 地盤面は全区画が平面なのか。

イ. 盛土にかかる費用の概算額は。

ウ. 予定地の一番低い所は海拔10mで、イオンモール下田の海拔は8.4mであるが、近年の災害は年々想定を上回るものとなっている。想定を上回る恐れがある予定地を住宅街として町が誘導して本当に安全で安心なまちづくりと言えるのか。

エ. 鉄塔はどうするのか。また、その概算の費用は。

オ. 軟弱地盤は含まれていないのか。

カ. 住宅などの立ち退きはあるのか。また、その概算の費用は。

キ. 法面は三面（東、西、南）とするのか。また、それは、コンクリートで施工する予定か。

ク. 津波の勢いは凄まじいもので、盛土したコンクリート構造でも、えぐり取られる。また、盛土した地盤は、すぐにひび割れ、道路や駐車場等の維持経費が増すが、50年間の経費見込額は。

ケ. 一般的に住宅地を選定する際、軟弱地盤（盛土を含む）や傾斜地、浸水想定地域に近い場所と、強固で高台の地盤のどちらを選ぶと思うか。

コ. 地形は長方形の方が有効活用でき、高台の方が今後、住宅街を誘導していくうえでも、町民の安全・安心につながる。また、将来の発展性を考えると、広大な敷地の方が可能性はますます広がる。

議員全員協議会では、町が提案した予定地は町民の意見を聞いて最終的に判断すると。町民の代表である、議員の意見を真摯に取り入れ、上記の問題点を総合的に判断したうえで、再度、予定地を選定すべきと考えるが、町の考えは。

順位	2席	議員 氏名	5番 木村 忠一	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

サ. 住民懇談会での町民からの話だが、「町の姿勢は候補地を決定したため、これをお願いします」というスタンスで、「町民の意見を聞く場ではなかった」と。「ただの説明会であり、報告会だった。また、10年先しか考えていない。50年先の将来を考えておらず、話を聞いて大変がっかりし、失望して帰ってきた」と聞いた。

副町長が作成に携わったと聞いている自治基本条例には「地域のことは地域が主体となって考え、行動するという自治の原点に立ち、町民・行政・議会がともに手を取り合ってまちづくりを進める必要があると。そして、協働とは、町民、行政及び議会が共通の目的を実現するために、責任と役割を認識し、お互いの立場を尊重しながら対等な立場に立って協力して行動する。町民が理想の地域社会を実現するために、町政とその評価に主体的に関り、行動する。自治基本条例は、町の根本を担う最高規範である」と制定されている。

もう一度、町民の声を真摯に受け止め、再検討する考えは。

シ. おいらせ町の将来を左右し、持続可能な町づくりをするための重大決定をする期間があまりにも短く、計画性がない。コロナ禍にも今までたくさんの議員が、合併特例債の期限が迫っているため何度も町に対して庁舎建設の質問をしたが、「今後検討していく」という回答のみだった。

候補地を選定するために、自治基本条例に基づいて、「行政」の一方的な考えを押し付けずに、「議会」全体としての調査期間、「町民」の声や意見を反映させるためのプロセス期間が不足している。

町政運営にあたり、「行政」主導の自治基本条例の「協働」について、これで整合性が図られていると考えているのか。

ス. 町民が「未来に向かって希望が持てる町」のために、今の候補地選定項目では不十分で、更に様々な角度から広い視野で、長期的展望に立って十分に検討する必要がある。再検討する考えは。

順位	3席	議員 氏名	13番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

## 1. 新庁舎建設に係る諸現状及び今後の進め方について

- (1) 候補地の絞り込み、議員全員協議会以降の動向は。
- (2) 新庁舎建設は新しいまちづくりのスタートであり、核となるものだが、建設の指針となる「基本構想」「基本計画」は。建設に対するコンセプトがあれば伺いたい。
- (3) 町民への周知徹底のための、これまでの、及び今後の動向は。
- (4) 財政的には、近年の世相を考えれば当初予定の2倍近くかかるとの見方もある。合併特例債で賄えない時はどんな対案があるのか。
- (5) 現本庁舎、分庁舎の、その後の使用について、現段階で何か考えているのか。

## 2. 不適切と思える財政執行について

- (1) 十数年前に老朽化が著しく、町内会が使用は限界とし、隣にコミュニティホールを建てた一川目生活館に、令和5年度の当初予算は壁などの塗装に約2千万円強を計上している。  
コミュニティホール建設の目的と経緯、及び補修工事の目的と内容は。
- (2) 長寿命化をうたっているが、その必要性は。
- (3) 財政の捻出は一次的には町債か。
- (4) 町内会、国（補助事業）との協議は。
- (5) 町内会が真から、この改修を望んでいるとは思えないが。

順位	4席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

## 1. 子育て支援政策について

### (1) 当町の「住みこちランキング」について

- ア. 賃貸住宅建設大手会社が昨年7月に発表した「街の住みこちランキング」で、当町は2022年青森県内「住みこちランキング」第1位に返り咲きましたが、これは県内在住の20歳以上の約5,800人を対象に調査した結果ですが、第1位となった理由について町長のお考えをお伺いします。
- イ. 当町の子育て支援政策の中で、「子どもの医療費助成制度」が県内の自治体の中で進んでいるのか、または遅れているのか町長の考えをお伺いします。

### (2) 県内各自治体の取り組みについて

- ア. 過去の一般質問でも伺いましたが、今回改めて県内40自治体の中で、現時点で18歳（高校生等）まで医療費を助成している自治体と来年度以降助成を予定している自治体の数をお伺いします。

### (3) 町長の政策公約について

- ア. 町長が2018年（平成30年）2月の町長選挙で掲げた政策公約の一つである「高校生までの医療費無料化を検討」について、私は2019年第4回定例会と2020年第3回定例会の一般質問で早期実施を訴え、町側の答弁では「約1,500万円あれば現在中学生まで助成している医療費を高校生まで拡充することができる」とのことでしたが、仮にこの4月から実施する場合の必要経費はいくらになるかお伺いします。
- イ. 町長の政策公約から今月で丸5年間検討されたことになりましたが、今定例会で提案された新年度予算案を見ても、子どもの医療費の助成を高校生まで拡充するための予算を確保することは困難とは思えず、今定例会で高校生までの医療費無料化を提案しない理由について町長にお伺いします。



順位	4席	議員 氏名	3番 馬場 正治	質問方式	一問一答方式
<p>(4) 国が進める子育て支援政策について</p> <p>ア. 今年4月に国が創設を予定している「こども家庭庁」について、町が把握している範囲でその概要をご説明いただきたい。</p> <p>(5) 高校生の医療費無料化の実施時期について</p> <p>ア. 国では急激な少子高齢化と人口減少対応策として「こども家庭庁」を創設し、子育て支援の予算を大幅に増額する考えを表明していますが、「こどもの医療」に対する具体的な支援内容は示されていないため、町は国からの支援を待つことなく、移住転入の推進を図るためにも速やかに高校生までの医療費無料化を実施すべきと考ますが、町長の考えをお伺いします。</p> <p><b>2. デマンドバスについて</b></p> <p>(1) 「おいらバス」の運行状況について</p> <p>ア. わが町の住民の足として、事前予約型デマンドバス「おいらバス」の運行が開始されてから1年近くになるが、直近3か月間の一日平均利用者数をお伺いします。</p> <p>(2) 予約受付ならびに運行実態について</p> <p>ア. 利用者からは町に対して様々な声が届いていると思いますが、高評価の声、苦情または改善を求める声、それぞれについて主なものをお伺いします。</p> <p>イ. 住民からの苦情または改善を求める声について、運行主体である三八五交通株式会社との調整協議は定期的に行われているかどうかお伺いします。</p>					

順位	5席	議員 氏名	7番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザの対応について

- (1) 直近のコロナワクチン接種状況について、町民の接種者の割合と人数を、お伺いします。
- (2) コロナの影響を受け、生活困難者は更に増えていると思うが、現在、町が行っている対応策について、お伺いします。
- (3) 町では、「子ども」と「妊婦」と「高齢者」に限定し、インフルエンザの予防接種費を助成しておりますが、この助成等を受けて接種した方について、接種状況をお伺いします。
  - ア. 生後6か月から高校生までの対象者数と、接種済者数、及び割合について、お伺いします。
  - イ. 65歳以上の高齢者の対象者数と、接種済者数、及び割合について、お伺いします。
- (4) 三八・上北地方にインフルエンザ警報が発令され、特に子どもや高齢者で重症化する恐れがあると報道されており、危機感を持っております。そこで、上記ワクチン接種以外の町の対応策を、お伺いします。

順位	5席	議員 氏名	7番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

## 2. 町民プール利用について

- (1) 町民プールは、本来の目的から大きく外れ、町内外から仕事帰りのシャワールームとして利用されていると耳にしますが、町はこの件を把握していますか。また、その対策と、対策後の状況について、お伺いします。
- (2) 令和5年度から、「一般」の使用料は200円、「高校生」の使用料100円を徴収するとのことですが、義務教育ではないとはいえ、高校生も学生であり、何かとお金がかかる年代であります。
- また、今後、町内全ての公共施設の使用料について、統一して見直す方針とのことですが、町の重要施策でもある「子育て支援」及び「健康増進」の政策として、インフルエンザワクチン接種助成と同様に「高校生まで」を支援すべきと考えますが、町の考えをお伺いします。

## 3. 鶉久保地区の道路整備について

- (1) 鶉久保地区の通称夏堀団地の住宅街の旧態依然とした道路は、石ころは飛ぶ、埃も飛ぶ、雨が降ればあちこちに水溜まりができ、碎石を敷いてもらったがすぐに穴が出来て水が溜まる。子どもが走る時もあり、すぐに転倒する。高齢者もしかり。一方では、畑と畑の畦道が町道と認定され、住民の住む道路が放置されている状態です。下田町の頃から昭和、平成、令和と続いてきた道路です。目を大きく見開いて何とか道路整備を完工する考えがないかお伺いします。